

河村市長・高須クリニック院長による

ご存知
ですか？

大村知事リコール運動の 本当の狙い 日本共産党

高須クリニック院長の高須氏が発起人となった大村知事リコールを求める運動。河村名古屋市長もただちにこの運動を支援する態度を表明し、すでに街頭宣伝などを行っています。

「表現の自由」を否定



リコール運動の理由は「あいちトリエンナーレ 2019」企画展「表現の不自由展・その後」の作品の中に昭和天皇と日本軍人を侮辱・揶揄する表現があったと問題視。県と名古屋市の公的事業に展示したのは誤りであり、展示を許可して開催・再開した大村知事は知事にふさわしくないというものです。

この主張は「表現の自由」を保障した憲法 21 条や文化芸術基本法に反するものです。市長である河村氏には多様な表現の場を保障して「表現の自由」を守る立場に立つことが義務づけられています。

■憲法 21 条

集会、結社及び言論、出版その他一切の表現の自由は、これを保障する。検閲は、これをしてはならない。通信の秘密は、これを侵してはならない。

■文化芸術基本法（前文抜粋）

我が国の文化芸術の振興を図るためには、文化芸術の礎たる表現の自由の重要性を深く認識し、文化芸術活動を行う者の自主性を尊重することを旨としつつ、文化芸術を国民の身近なものとし、それを尊重し大切にしよう包括的に施策を推進していくことが不可欠である。

侵略戦争を肯定



高須氏は「南京もアウシュビッツもねつ造」と発言し「南京大虐殺はなかった」とする河村市長と歴史改ざんであい通じています。河村市長は展示された旧日本軍「慰安婦」の被害を表した「平和の少女像」について「日本人の心を踏みにじるもの」と撤去を迫りました。今回のリコール運動は企画展の作品の表現を「日本人の心を踏みにじるもの」とすることで日本の侵略戦争を肯定し、それをすすめた旧日本軍を美化する彼らの考えへの同意を広げようとする意図があることは明らかです。

ナチスを礼賛する 高須克弥氏

高須氏は「偉大なナチス」「盟友ナチス」とヒトラー・ナチスを礼賛する発言を繰り返しています。「アウシュビッツもねつ造」とする発言にはドイツのアウシュビッツ記念館の公式アカウントからも「アウシュビッツは史実」と批判されています。

「リコール運動反対」をご一緒に

日本共産党は戦前から侵略戦争反対を貫いてきた党として、広範な市民と共に知事リコール運動に反対する運動に全力をつくします。ご一緒に憲法と民主主義を守る運動を広げましょう。

リコール運動反対を訴えて宣伝する市民▶



愛知民報

2020年夏季号外 日本共産党の見解を紹介します。
(発行)愛知民報社 〒460-0007 名古屋市中区新栄三丁目12番25号 愛知あかつき会館内
(1966年7月31日第三種郵便物認可)

日本共産党愛知県委員会
〒460-0007 名古屋市中区新栄三丁目
12番25号 ☎ 052-261-3461

歴史改ざん許さず、 「表現の自由」守るため全力

日本共産党

昨年8月2日、河村市長は「あいちトリエンナーレ2019」企画展「表現の不自由展・その後」を視察し「平和の少女像」の展示中止を要請。翌日に同企画展は中止に追い込まれました。日本共産党は市民とともに、「表現の自由を守れ」「展示の再開を」と世論と運動を広げ、展示は再開されました。



河村市長に抗議

日本共産党名古屋市議団は河村市長に対し、中止発言に抗議し、「表現の不自由展・その後」を再開すること、不当な暴力や脅迫から表現の自由と市民の安全を守ることを求める申し入れを行いました。

大村知事に要請

党県委員会は、大村知事に対し、憲法21条で保障された表現の自由を守る立場から展示の再開を申し入れました。



文化庁に抗議

日本共産党のもとむら伸子衆院議員はあいちトリエンナーレへの補助金を「全額不交付」とした文化庁に抗議。その後一部支給となりました。



作者の意図は

あいちトリエンナーレ2019芸術監督の津田大介氏は高須氏が昭和天皇の写真を燃やしたとして問題にしている作品について下記のように語っています。

「〔「遠近を抱えて」について作者の〕大浦さんは昭和天皇の肖像は日本人としての自画像であり、天皇批判ではないとしています。同作は展覧会終了後…(富山)県議会で「不快」などと批判され…1993年に美術館は作品売却。図録470冊全て焼却しました。今回問題とされている新作の映像作品《遠近を抱えて PartII》は…一部だけ切り取ってみると、昭和天皇の肖像が燃えているように見えますが、正確には、富山県美術館によって《遠近を抱えて》の図録が焼却された経験を元に、自分の作品、自分のアイデンティティの葛藤を燃やしている作品だということです」

あいちトリエンナーレ2019「表現の不自由展・その後」に関するお詫びと報告より抜粋

ブレずに反戦平和つらぬき 98年—— たしかな歴史をもち、未来をひらく党

日本共産党は党をつくって98年。戦前の天皇絶対の暗黒政治の時代から「主権在民」「侵略戦争反対」を命がけで貫いてきた唯一の党です。だからブレずに歴史逆行の動きを許さず、平和と民主主義を守るためにがんばれます。植民地支配と侵略戦争の反省を土台にしてこそアジア諸国との友好・交流を深め、未来をひらくことができます。



「蟹工船」で有名な小林多喜二も日本共産党員